平成25年	F度事務事業評	価シート	該当事業(評価対象外事業は基 公共建設事業	
事務	§事業名	食育推進事	業	•	
予	算科目	4 款	1項 2目		
総合計画	での位置付け	福祉の向上 保健・医療の		実~やすらぎとぬく	もりのまちづくり~
	京課情報	担当課:	健康増進課	電話番号(内線	734
記入	者情報	所属長:	亀岡 泰三	担当責任者:	山内 朋子
事業	美の性格 おんしゅん	法定事務			
実	施期間	【開始年度】	平成 21 年度	【開始年度】設定なし	,
事業	美の対象	伊予市民			
根拠法令等	食育基本法、健康増進	É法、地域保健 》	法		
事業の目的	食に関する知識と食を	選択する力を習	習得し、健全な食生活	を実践できる市民の育成	を図る。
事業の内容	食育推進計画の推進	地域組織育成、	健康教育		
改善策の 具体的 取り組み (当初)				食育の推進を図る。食育排 †画的な検討及び推進を	推進会議を開催し、食育関 図る。
改善策の 具体的 取り組み					

		事業費	及び財源内訳		
J	項 目	24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
	直接事業費	759	1,111	488	975
事業費	人件費	7,039	13,260	6,670	13,260
	合計	0	14,371	7,158	14,235
	人工数	0.88	1.63	0.82	1.63
人件費	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
内訳	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	7,039	13,260	6,670	13,260
	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
財源内訳	地方債	0	0	0	0
	その他	29	54	16	33
	一般財源	7,769	14,317	7,142	14,202

	事業活	動の実績(活動	カ指標)		
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
食育推進リーダーの数	人	31	27	27	27
地区伝達講習参加者数	人	2534	2600	1210	2420
栄養相談(個別)利用者数	人	1692	1700	912	1823
栄養教室(集団)参加者数	人	893	900	468	936

		向こう5年	間の直接事業	費の推移		
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
十尺	850	850	850	850	0	3,400

		成果指標		
成果指標	地区伝達講習参加者数十第	栄養相談(個別)利用者数+	栄養教室(集団)参加者数	
指標設定の 考え方	事業への参加者数の増加に	よ、食に関する知識を習得し	、健全な食生活を実践する	人の増加に繋がる。
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目 標	5000人	5000人	0	0
実績	5119	5179	0	0

		自己評価		
		目的の妥当性	5	5 A
	妥当性	市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
自己評価		事業の効果	4	
(担当責任者)	有効性	有効性 成果向上の可能性 3	3	В
(担当具任有)		施策への貢献度	4	
		手段の最適性	3	
	効率性	コスト効率	3	В
		受益者負担の適正	4	
	伊予市食育1・4推進計画が平成27年度に期間終了を迎えることから、心身の健康を保持し、生涯にわ		生涯にわ	

伊予市食育1・4推進計画が平成27年度に期間終了を迎えることから、心身の健康を保持し、生涯にわたって生き生きと暮らすことができるようにするために、重要な「食」について理解を深め、健全な食生活を実践していただくため、引き続き関係機関と連携して推進していく必要がある。

課題認識

		一次評価		
		目的の妥当性	5	
	妥当性 市民ニーズへの対応 5	Α		
		市の関与の妥当性	4	
一次評価	事業の効果	4		
(所属長)	有効性	成果向上の可能性	5	В
(別為文)		施策への貢献度	4	
		手段の最適性	3	
	効率性	コスト効率		В
		受益者負担の適正	4	

健全な食生活を実践することにより、生涯にわたって生き生きと暮らせることができるよう、今後も、「伊予市食育1・4推進計画」に基づき、食育を総合的・計画的に推進する必要がある。

課題認識

	二次評価
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

	行政評価委員会の答申
外部評価 (行政評価委員会)	

	経営者会議の最終判断
事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	